

知的財産政策ビジョン検討ワーキンググループの設置について(案)

平成 24 年 月 日

知的財産による競争力強化・国際標準化専門調査会
コンテンツ強化専門調査会

1. 開催趣旨

平成 14 年、知的財産戦略会議により、知的財産立国実現に向けた政府の基本的な構想である「知的財産戦略大綱」を策定されたが、それから 10 年を経過した現在、知財立国に向けた取組は道半ばである。

予想をはるかに超えるスピードで進むグローバルネットワーク化、新興国の台頭を背景とする各国間での知財システム競争の出現、知財の保護から活用への視点の転換及び知財マネジメント人材の育成の喫緊性の高まりといった環境変化がここ 10 年で生じており、今後我が国がどういう対応をするかが喫緊の課題となっている。

このため、知的財産による競争力強化・国際標準化専門調査会及びコンテンツ強化専門調査会の下に、知的財産に関する有識者による「知的財産政策ビジョン検討ワーキンググループ」（以下「ワーキンググループ」という。）を設置し、これまでの 10 年間の取組を点検した上で、今後の 10 年を見据え、環境変化への柔軟な対応も念頭に置きつつ、我が国のソフトパワーも含めた国力強化という視点に立った「知的財産政策ビジョン」の策定に向けた検討を行うこととする。

2. 検討事項

- (1) 過去 10 年の知的財産推進の取組の検証について
- (2) 今後 10 年の知的財産政策のビジョンについて
- (3) その他

3. 検討体制

- (1) ワーキンググループの委員は、別紙のとおりとする。
- (2) ワーキンググループの座長は、ワーキンググループにおいて決定する。
- (3) 上記に掲げるもののほか、ワーキンググループの運営に必要な事項は、座長が定める。

(別紙)

知的財産政策ビジョン検討ワーキンググループ 委員名簿

足立 直樹	凸版印刷(株)代表取締役 取締役会長、一般社団法人日本経済団体 連合会知的財産委員会知財共同委員長
荒井 寿光	東京中小企業投資育成(株)代表取締役
角川 歴彦	(株)角川グループホールディングス取締役会長
川上 量生	(株)ドワンゴ代表取締役会長
久夛良木健	サイバーアイ・エンタテインメント(株)代表取締役社長CEO
國領 二郎	慶應義塾大学総合政策学部長
妹尾堅一郎	NPO法人産学連携推進機構理事長
高橋 常夫	(株)エヌエフ回路設計ブロック代表取締役社長
中村伊知哉	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授
野間口 有	独立行政法人産業技術総合研究所理事長
村井 純	慶應義塾大学環境情報学部長
山口 範雄	味の素(株)代表取締役会長
渡邊 捷昭	トヨタ自動車(株)相談役

(五十音順、敬称略)